**＜論文要旨＞**

**地域創成と持続可能性**

**－地元企業大王製紙の会計情報分析を中心として－**

**鈴木浩二**

四国大学附属経営情報研究所客員研究員

全国一の「紙のまち」として知られ、大王製紙の企業城下町として発展し、地元（四国中央市）と共存、共栄の道を追求してきたといってよいであろう。地域創成にあたっては、イノベーションをいかに地域に実現するかが重要であり、しかもその内容は地域の環境に配慮した持続可能なものでなければならない。地元の地域創成にとって、まさに持続可能なイノベーションこそが重要な課題となる。

そこで、本稿は、このような状況のもとにおいて、地元企業である大王製紙の持続可能なイノベーションの追求努力を、環境会計情報とセグメント情報の分析を通じて考察し、持続可能な発展をめざす地域創成のあり方を探ってみたい。